

資料②：先進事例調査について

平成 28 年 12 月

南 城 市

1 先進事例視察の概要

1.1 視察の工程と視察先

●平成28年11月8日(火)～12日(土)の日程で関東・東北地方の先進事例の視察を行いました。

表 1.先進事例調査の日程

月日	視察先	視察対応者
11月9日(水) 埼玉県 ときがわ町	ときがわ町役場、バスセンター	ときがわ町役場企画財政課
	《取組み》 ●ハブ&スポーク【交通結節】 ●高齢者定期券【料金施策】	
月日	視察先	視察対応者
11月10日(木) 青森県 八戸市	八戸市役所、市内各地	八戸市都市政策課・観光課 八戸市交通部・南部バス
	《取組み》 ●等間隔・共同運行【ネットワーク】 ●遊覧バス うみねこ号【ネットワーク】 ●バスナビ8【情報提供】 ●はちこ【情報提供】 ●八戸ポータブルミュージアムインフォメーション【情報提供】 ●八戸えんじょいカード【料金施策】	
月日	視察先	視察対応者
11月11日(金) 岩手県 盛岡市	盛岡市役所	盛岡市交通政策課
	《取組み》 ●ゾーン・バスシステム【ネットワーク】 ●バス案内係【情報提供】 ●高齢者定期券【料金施策】	
月日	視察先	視察対応者
11月12日(土) 宮城県 仙台市	仙台市八木山動物公園駅	—
	《取組み》 ●八木山動物公園駅の整備【交通結節】	

※11月8日(火)は移動日

1.2 視察先での取組の概要

●埼玉県ときがわ町、青森県八戸市、岩手県盛岡市、宮城県仙台市における視察結果の概要は以下に示すとおりです。

表 2.視察先での取組の概要

区分	取組名	実施箇所	実施内容
ネットワーク	ゾーン・バスシステム	岩手県盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外部と都心部を結ぶ「基幹バス」と郊外部を運行する「支線バス」に整理。基幹バスと支線バスの乗り換えはミニ・バスターミナルで行う。
	等間隔・共同運行	青森県八戸市	<ul style="list-style-type: none"> ・「八戸駅線」の10分間隔共同運行。バス事業者、各社独自で運行していたダイヤを調整し、日中は両社をあわせて10分間隔での運行を実現。
	遊覧バス うみねこ号	青森県八戸市	<ul style="list-style-type: none"> ・JR八戸線鮫駅とJR八戸線種差海岸駅を結ぶ「ワンコイン遊覧バス・うみねこ号」を八戸市が運行。
交通結節	ハブ&スポーク	埼玉県 ときがわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・「せせらぎバスセンター」をハブバス停として整備、町外の3つの駅と町内の2地域へ放射状にバスを運行。「せせらぎバスセンター」では同時時間帯に各方面のバスが到着するダイヤ設定。
	八木山動物公園駅の整備	宮城県仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ・端末駅の八木山動物公園駅にバス停、バス待機場、タクシー乗り場、駐輪場、駐車場を整備。 ・路線バスは、端末駅から運賃100円区間を設置。
情報提供	バスナビ8	青森県八戸市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年に導入していたバスロケーションシステムを活用し、平成25年にタブレット端末とモニターにより、バスの到着予測時刻を提供できるシステム「バスナビ8」を開発。(八戸市内12カ所のコンビニ・公共施設設置)

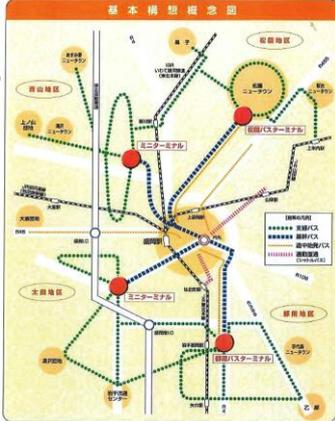
区分	取組名	実施箇所	実施内容
情報提供	はちこ	青森県八戸市	・八戸駅やバス停留所、バス車内等において、乗り継ぎや目的地の案内をする「はちこ」を配置。
	八戸ポータブルミュージアムインフォメーション	青森県八戸市	・八戸市や周辺町村域のバス観光案内業務、情報提供、バス利用促進、バス乗車券の一部販売等を実施。
	バス案内係	岩手県盛岡市	・盛岡駅ターミナル周辺でバスの乗り換え等の公共交通に関する案内を実施
料金施策	八戸えんじょいカード	青森県八戸市	・おとな 700 円、子ども 350 円で八戸市内の JR 線、路線バス(2 事業者)の全路線が 1 日乗り放題。提携店舗でのサービスもある。
	高齢者定期券	埼玉県 ときがわ町	・1 ヶ月 2500 円、1 年間 25,000 円の「高齢者定期」を販売。(65 歳以上が対象) 町内全路線乗り降り自由
	高齢者定期券	岩手県盛岡市	・1 ヶ月 5,400 円の 自宅から近くのバス停から中心市街地までの「まちなかおでかけパス」 を販売。(70 歳以上が対象)自宅から中心部向けは途中下車可であるが、郊外向けは利用できない。

2 視察で把握した取組の概要

2.1 ネットワークに関する取組

(1) ゾーン・バスシステム

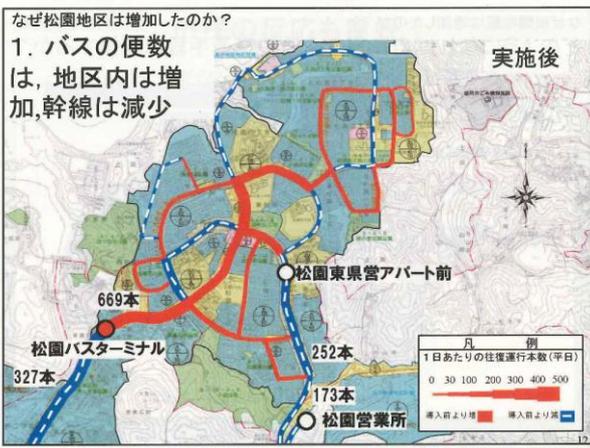
- 郊外部と都心部を結ぶ「**基幹バス**」と郊外部を運行する「**支線バス**」に整理。
基幹バスと支線バスの乗り換えは**ミニ・バスターミナル**で行う。

取組の背景とねらい	取組の概要
<ul style="list-style-type: none"> ・中心部に流入するバスの集中による定時性の低下 ・バス利用者の減少 <p style="text-align: center;">▼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心部に流入するバス路線を減らし、運行の効率化 ・郊外部にターミナルを整備し、住宅地の利便性を向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外部と都心部を結ぶ「基幹バス」と郊外部を運行する「支線バス」に整理 ・基幹バスと支線バスの乗り換えはミニ・バスターミナルで行う。  <p style="text-align: right;">資料: 国土交通省事例集</p>

松園地区では、基幹バスの本数は減少、地区内の支線バスは増加、導入後4年目で、利用者数は15%増加。(ただし、現在は住宅地の住民の高齢化もあり、利用者は減少傾向)

なぜ松園地区は増加したのか？

1. バスの便数は、地区内は増加、幹線は減少



資料: 盛岡市

ゾーンバスシステム

- 運行体系の改善**
 - 基幹バス
 - 支線バス
 - 都心循環バス
- 走行環境の改善**
 - バス専用(優先)レーン
 - PTPS(公共交通優先システム)
- 利用条件の改善**
 - ミニバスターミナル
 - 乗り継ぎ割引料金

支援措置

- ハイグレードバス等の設置
- バスロケーションシステム
- パークアンドバスライド
- サイクルアンドバスライド
- レールアンドバスライド
- 低床バス、小型バスの導入
- その他の施策

盛岡市中心部では、PTPS(公共交通優先の信号システム)も導入、朝ピークのバスの所要時間が30分から25分に短縮

図-2-1.「ゾーンバスシステム」概要

(3) 等間隔・共同運行

- 「八戸駅線」の10分間隔共同運行。バス事業者、各社独自で運行していたダイヤを調整し、日中は両社をあわせて10分間隔での運行を実現。

取組の背景とねらい

- ・八戸駅～中心部のバス路線は、2つの事業者が競合して運行、時間帯によって運行本数のバラツキがあるなど、**競合により利便性が低下**。
- ・利用者も年々減少
- ・**交通事業者間の運行ダイヤの一体的設定・調整**により利便性向上を図る。



資料: 八戸市

取組の概要

「八戸駅線」の10分間隔共同運行

バス事業者、各社独自で運行していたダイヤを調整し、日中は両社をあわせて10分間隔での運行を実現

等間隔・共同運行の実施により、**利用者の利便性も高まる**とともに、**運行便数が228便から182便へと20%減少し効率性も向上、単年度黒字達成**。現在は他路線でも展開

八戸駅線共同運行化プロジェクト 「競合」から「共生」へ



Before (H19)

- ・各事業者がバラバラに系統・ダイヤを編成
- ・平日228便の運行本数

After (H20)

- ・2社2経路のダイヤを平準化 (10分間隔のヘッドダイヤに)
- ・平日182便(▲46便)に

利便性を高めつつ 仕業的にも環境的にも **“reduce”**

資料: 八戸市

図-2-2.「等間隔・共同運行」の概要

(4) 遊覧バス うみねこ号

●JR 八戸線鮫駅と JR 八戸線種差海岸駅を結ぶ「ワンコイン遊覧バス・うみねこ号」を八戸市が運行。

取組の背景とねらい

- ・観光名所である葦毛崎展望台や大平牧場、蕪島周辺に、JR八戸線は運行されているが、2～3時間に一本程度と非常に少ない。
- ・2002年に東北新幹線八戸駅開業により観光客が増加
- ・観光客及び住民の利便性を高めるため、遊覧バスを運行

取組の概要

- ・JR八戸線鮫駅とJR八戸線種差海岸駅を結ぶ「ワンコイン遊覧バス・うみねこ号」を八戸市が運行。



◀ガイド(はちこ)による案内



▲車窓からの風景

種差海岸遊覧バス「うみねこ号」

名称	種差海岸遊覧バス	鮫 (JR 鮫駅)
愛称	ワンコインバス・うみねこ号	遊覧船乗り場前 2分
運行開始年月日	平成 15 年 7 月	蕪島海浜公園
運行日	10 月 31 日までの毎日	水産科学館前
運行本数	一日 7 往復	恵比須浜
運行時間	鮫発 9 時 45 分始発、15 時 40 分最終	小舟遊 9分
運行経路	J R 八戸線鮫駅～蕪島～八戸市水産科学館マリエント～葦毛崎展望台前～白浜海水浴場前～J R 八戸線種差海岸駅	シーガルビューホテル
運賃	均一大人 100 円、小児 50 円 (現金、一日乗車券、はつらつ・ほほえみ共通バス券、八戸えんじょいカードで利用可能)	小舟遊
		葦毛崎展望台前
		中須賀 4分
		大須賀海岸 4分
		白浜海水浴場前
		妻ノ沖
		白 浜
		龍 崎 7分
		深久保
		種差小学校前
		種差海岸
		種差海岸
		インフォメーションセンター
		電話市民サービスセンター 2分
		種差海岸駅



種差海岸

資料:八戸市

図-2-3.「遊覧バス うみねこ号」の概要

2.2 交通結節に関する取組

(1) ハブ&スポーク

- 「せせらぎバスセンター」をハブバス停として整備、町外の3つの駅と町内の2地域へ放射状にバスを運行。「せせらぎバスセンター」では同時間帯に各方面のバスが到着するダイヤ設定。

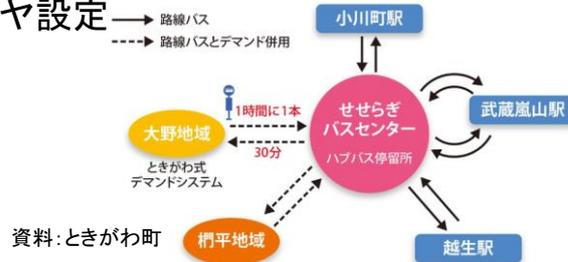
取組の背景とねらい

- ・ 通勤・通学・買い物等を町外に頼っており、町民は隣接する町の3つの駅を利用
- ・ 町営と民間の路線バスが重複して運行、ダイヤの接続が不十分、路線の長大化等の問題あり

- ・ バス路線の運営を民間に一本化
- ・ 乗り継ぎ拠点を中心に、路線を再編することで効率性、利便性を向上

取組の概要

- ・ 「せせらぎバスセンター」をハブバス停として整備、町外の3つの駅と町内の2地域へ放射状にバスを運行。
- ・ 「せせらぎバスセンター」では**同時間帯に各方面のバスが発着するダイヤ設定**



ハブバス停:せせらぎバスセンター

ときがわ町路線再編成2010年 ハブ&スポークとデマンド導入効果

- 輸送量は**150%~300%増加**
- 利用者数 再編前比較**25%増加**
- 総走行キロ数 **5%削減**
(デマンド用ワゴン車1台導入)

車両の小型化とデマンド導入により総走行キロ5%削減
(ワゴン1台増加)

資料:ときがわ町



乗り継ぎ利便性を高めるため、**ゾーン運賃の導入**や、**町内全路線乗り降り自由の定期券**を販売

図-2-4.「ハブ&スポーク」の概要

(2) 八木山動物公園駅の整備

- 端末駅の八木山動物公園駅にバス停、バス待機場、タクシー乗り場、駐輪場、駐車場を整備。
- 路線バスは、端末駅から運賃 100 円区間を設置。

取組の背景とねらい	取組の概要
<ul style="list-style-type: none">• 2015.12に地下鉄東西線が開業• 公共交通の利用促進が課題 <p style="text-align: center;">▽</p> <ul style="list-style-type: none">• 端末駅の交通結節機能を高め、公共交通の利用を促進	<ul style="list-style-type: none">• 端末駅の八木山動物公園駅に、バス停、バス待機場、タクシー乗り場、駐輪場、駐車場を整備• 路線バスは、端末駅から運賃 100 円区間を設置 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div data-bbox="655 745 916 936"><p>▲駐輪場</p></div><div data-bbox="1102 521 1390 730"><p>▲バス待機場</p></div><div data-bbox="1018 808 1342 936"><p>▲路線バス100円区間の案内</p></div></div>

図-2-5.「交通結節点の整備(仙台市)」の概要

2.3 情報提供に関する取組

(1) バスナビ 8

- 平成 21 年に導入していたバスロケーションシステムを活用し、平成 25 年にタブレット端末とモニターにより、**バスの到着予測時刻を提供できるシステム「バスナビ 8」**を開発。
(八戸市内 12 カ所のコンビニ・公共施設設置)

取組の背景とねらい

- ・バスの待ち時間がわからないことが、利用者の不安や、不満につながりバス利用の阻害要因となる。
 - ・バスの待ち時間が利用者にとって無駄な時間となっている。
- ▼
- ・リアルタイムでバスの運行状況を伝えることで、**バス待ち時間の有効活用**や、**バス待ちの不满軽減**を図る。

取組の概要

- ・平成21年に導入していたバスロケーションシステムを活用し、平成25年にタブレット端末とモニターにより、**バスの到着予測時刻を提供**できるシステム「バスナビ 8」を開発
- ・八戸市内12箇所のコンビニ・公共施設等設置



▲コンビニでもバスの接近情報を確認可能

バス番号	目的地	発車時刻	備考
5 六日町	六日町	12:00	日曜・祭日
7 71	新のつた	12:00	日曜・祭日
7 72	新のつた	12:05	日曜・祭日
7 73	新のつた	12:10	日曜・祭日
7 74	新のつた	12:15	日曜・祭日
7 75	新のつた	12:20	日曜・祭日
7 76	新のつた	12:25	日曜・祭日
7 77	新のつた	12:30	日曜・祭日
7 78	新のつた	12:35	日曜・祭日
7 79	新のつた	12:40	日曜・祭日
7 80	新のつた	12:45	日曜・祭日
7 81	新のつた	12:50	日曜・祭日
7 82	新のつた	12:55	日曜・祭日
7 83	新のつた	13:00	日曜・祭日
7 84	新のつた	13:05	日曜・祭日
7 85	新のつた	13:10	日曜・祭日
7 86	新のつた	13:15	日曜・祭日
7 87	新のつた	13:20	日曜・祭日
7 88	新のつた	13:25	日曜・祭日
7 89	新のつた	13:30	日曜・祭日
7 90	新のつた	13:35	日曜・祭日
7 91	新のつた	13:40	日曜・祭日
7 92	新のつた	13:45	日曜・祭日
7 93	新のつた	13:50	日曜・祭日
7 94	新のつた	13:55	日曜・祭日
7 95	新のつた	14:00	日曜・祭日
7 96	新のつた	14:05	日曜・祭日
7 97	新のつた	14:10	日曜・祭日
7 98	新のつた	14:15	日曜・祭日
7 99	新のつた	14:20	日曜・祭日
7 100	新のつた	14:25	日曜・祭日

▲バス運行情報はUD書体で見やすさ重視



八戸中心街ターミナル各バス乗り場の運行情報モニター(バス発車時刻表示)



▲上部取付型2段タイプ(ラピアにて)



▲上部取付型3段タイプ(十三日町にて)

資料:八戸市

図-2-6.「バスナビ 8」の概要

(2) はちこ

●八戸駅やバス停留所、バス車内等において、乗り継ぎや目的地の案内をする「はちこ」を配置。

取組の背景とねらい

公共交通の乗り継ぎ案内は、サインや時刻表だけでは十分ではない。

人でしかなし得ないアテンドで公共交通の情報等を案内

きっかけは、八戸駅の掃除の方の交通案内が好評だったため

取組の概要

- ・八戸駅やバス停留所、バス車内等において、乗り継ぎや目的地の案内をする「はちこ」を配置
- ・アテンド以外にも
 - ◆イベントでの利用促進活動
 - ◆バスの乗り方教室
 - ◆親子バス乗車体験会
 - ◆イベントバス(ハロウィン)など多様な活動を実施



はちこの一年 (平成27年度の主な活動)



資料: 八戸市

図-2-7.「はちこ」の概要

(3) 八戸ポータルミュージアムインフォメーション(青森県八戸市)、バス案内係(岩手県盛岡市)

- 八戸市や周辺町村域のバス観光案内業務、情報提供、バス利用促進、バス乗車券の一部販売等を実施。(八戸ポータルミュージアムインフォメーション)
- 盛岡駅ターミナル周辺でバスの乗り換え等の公共交通に関する案内を実施。(バス案内係)

八戸ポータルミュージアム インフォメーション



概要

資料:八戸市

- 八戸市や周辺町村域のバス、観光案内業務、情報提供、バス利用促進、バス乗車券の一部販売等を実施

バス案内係(岩手県 盛岡市)



概要

- 盛岡駅ターミナル周辺でバスの乗り換え等の公共交通に関する案内を実施。

図-2-8.「八戸ポータルミュージアムインフォメーション」「バス案内係・盛岡市」の概要

2.4 料金施策に関する取組

(1) 八戸えんじょいカード

- おとな 700 円、子ども 350 円で八戸市内の JR 線、路線バス(2 事業者)の全路線が 1 日乗り放題。提携店舗でのサービスもある。

取組の背景とねらい

- 東北運輸局の取組がきっかけで、JR、路線バスが1日乗り放題となる「八戸えんじょいカード」が販売される。

取組の概要

- おとな700円、子ども350円で八戸市内のJR線、路線バス(2事業者)の全路線が1日乗り放題
- 提携店舗でのサービスもある。



資料:八戸市

○ 優遇サービス

立ち寄った先で八戸えんじょいカードを提示、さまざまな特典やサービスを受けられます。

八戸えんじょいカードを各協賛店で提示すると、観光施設・飲食店・宿泊施設での割引や、各お店ごとのサービスなどさまざまな特典が受けられます。

○ ジャンルで探す



○ エリアで探す



資料:八戸市

八戸市が実施した利用者へのアンケート調査によると、

◆半数は観光目的、半数は通院・買い物目的で購入

◆使い勝手は、大変満足が62%、満足が29%、不満の回答なし。

図-2-9.「八戸えんじょいカード」の概要

(2) 高齢者定期券(埼玉県ときがわ町・盛岡県盛岡市)

- 1ヶ月2500円、1年間25,000円の「高齢者定期」を販売。(65歳以上が対象)
町内全路線乗り降り自由。(埼玉県ときがわ町)
- 1ヶ月5,400円の自宅から近くのバス停から中心市街地までの「まちなかおでかけパス」を販売。(70歳以上が対象)自宅から中心部向けは途中下車可であるが、郊外向けは利用できない。(盛岡県盛岡市)

取組の背景とねらい

- ・高齢者の社会参加を助長し、高齢者の福祉の向上を図る。
- ・高齢者向けの定期券を販売

取組の概要

【ときがわ町】

- ・1ヶ月2,500円、1年間25,000円の「高齢者定期」を販売
- ・65歳以上が対象
- ・町内全路線乗り降り自由

【盛岡市】

- ・1ヶ月5,400円の自宅から近くのバス停から中心市街地までの「まちなかおでかけパス」を販売
- ・70歳以上が対象
- ・自宅から中心部向けは途中下車可であるが、郊外向けは利用できない。

ときがわ町：高齢者定期券

65歳以上なら「高齢者定期」が絶対お得!

1ヵ月定期：2,500円/1年定期：25,000円

※1ヶ月定期は必要な月数購入出来ます。
※年齢確認ができる証明書(運転免許証・保険証など)をお持ち下さい

【定期券取扱所】 イーグルバス都幾川営業所、役場本庁舎(会計室)、役場第二庁舎(行政サービスコーナー)
※窓口センターは平成27年4月から「行政サービスコーナー」に名称変更されます。

65歳以上の方に、バスを日常の足として低額な料金で利用していただくため「高齢者定期」を用意しました。

路線バスが、期間内乗り放題で大変お得な料金設定になっています。

- まだ行ったことのない、町内の施設や花の名所を訪ねてみたい。
- バスを使って、小川町や道川町など、少し遠くに買物に行きたい。
- 町内にある日帰り温泉にバスで行ってみよう。
- 車の運転が心配になってきたので、そろそろ自家用車からバスに変えようかな。

高齢者定期を有効に使って色々な所に出かけることで、毎日の活動量を上げ「ますます健康になっていただきたい」このような願いを込めて発行するものです。

資料：ときがわ町



盛岡市：まちなかおでかけパス

盛岡市にお住まいで、満70歳以上の方対象 若手県交通・若手県北バス・JRバス東北(共通バス)

お買物などにとっても便利!

まちなか・中心市街地活性化
おでかけパス

期間中最長 6ヵ月間バス乗り放題!!

自宅近くのバス停 途中乗り降り可能 中心市街地エリア (盛岡市立病院へも利用できます)

最寄りのバス停名が2カ所まで記入されます。 エリア内乗り降り自由

「まちなかおでかけパス」は平成26年前期より(バス券の表記を、住所から自宅近くのバス停名(最大2カ所まで)に変更しています。この自宅近くのバス停名を、購入申請書の記入欄にご記入願います。

購入金額 5,400円

※利用開始日前に申し出があった場合のみ、発行までに要します。
※利用開始日より1週間以内です。

資料：盛岡市

図-2-10.「高齢者定期券」の概要

3 南城市での先進事例の適用イメージ

- 南城市内は「ハブ&スポーク」によるバス路線網の形成から考えられます。
- 基幹路線と考えられる中核地～那覇空港・那覇中心部は「等間隔・共同運行」での運行が考えられます。
- 市内の移動利便性を高めるため「八戸えんじょいカード」や「高齢者定期券」、「バスナビ8」、「バス案内係」の導入も考えられます。
- 観光コンテンツとして「遊覧バス」の運行も考えられます。

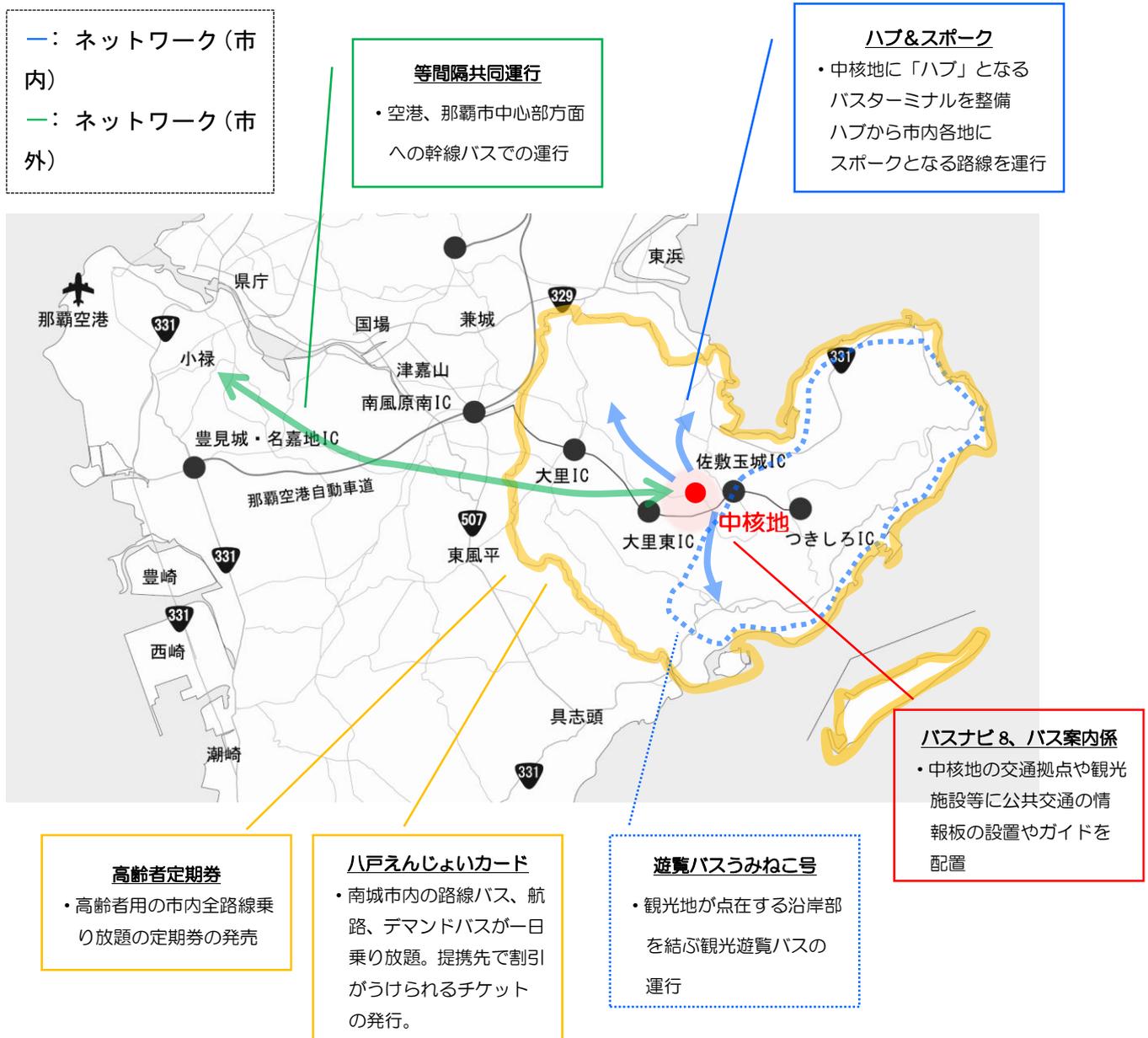


図-3-1.南城市での先進事例の適用イメージ